

課題番号	13-4	分野名	木材加工	予算区分	県単
------	------	-----	------	------	----

研究課題名	スギの性能向上化に資する建築用新材の開発：その4 (枠組壁工法用材としての性能評価)				
-------	---	--	--	--	--

担当者名	大野 英克・鈴木 寿幸・ 亀山 雄揮・安藤 康裕	研究期間	平成21～25年度		
------	-----------------------------	------	-----------	--	--

1 背景・目的

- ・国産材（スギ・ヒノキ主体）の新たな使用法を探る
(従前のスギ材に続き本年度は、ヒノキについて各種試験を行った)
- ・試験結果次第では国産材の大きな流れを創出することにもつながる
- ・為替や伐採制限・他国の経済情勢に左右されない点では、薄利だが生産供給が内地で管理しやすくトータルで有利
- ・2×4ランバーの木造軸組工法への活用も見込まれている（屋根垂木、間柱、根太、筋交等）

2×4ランバーとは

枠組壁工法（＝一般に2×4住宅）
その構造部位に使用する「枠組壁工法構造用製材」
（＝北米のディメンションランバー、通称ツーバイフォーランバー）

2 試験概要

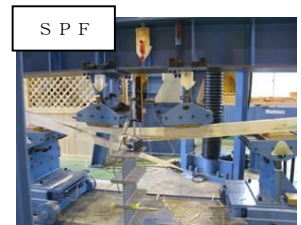
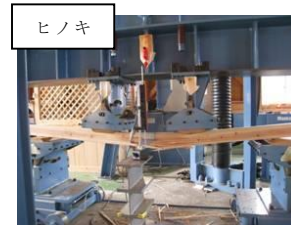
試験材

① ヒノキ
小径材，節有り
中温蒸気乾燥&モルダー仕上げ

② SPF
Jグレード：2 and ベター，S4S

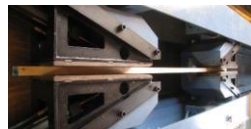
曲げ性能試験

- ① 試験材規格及び試験本数
38 mm×89 mm×2440 mm，各 30 本
- ② 試験方法
構造用木材の強度試験法
((財) 日本住宅・木材技術センター) に準拠
3等分点4点荷重法
(下部スパン 1869 mm，上部 623 mm)
- ③ 試験状況 (写真参照)



引張性能試験

- ① 試験材規格及び試験本数：38 mm×89 mm×2440 mm，各 30 本
- ② 試験方法：構造用木材の強度試験法 ((財) 日本住宅・木材技術センター) に準拠
チャック間距離 1200 mm
- ③ 試験状況



圧縮性能試験

- ① 試験材規格及び試験本数：38 mm×89 mm×250 mm，各 14 本
- ② 試験方法：構造用木材の強度試験法 ((財) 日本住宅・木材技術センター) に準拠
- ③ 試験状況

